

ROSE

富士市発エンターテインメント情報誌 ロゼ
2023 SUMMER Vol.124

TAKE
FREE
無料

ROSE

■発行／公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地 TEL:0545-60-2510 ■企画・編集・制作／公益財団法人富士市文化振興財団 タイムデザイン



INTERVIEW

第18回ショパン国際ピアノ・コンクール優勝

ブルース・リウ

Bruce Liu



ブルース・リウ Bruce Liu

PROFILE

ブルース・リウは2021年の第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで優勝し世界の注目を集めた。コンクールでの成功後直ちに世界ツアーを開始し、パリのシャンゼリゼ劇場、ウィーンコンツェルトハウス、ブリュッセルのボザール、東京オペラシティ、サラ・サンパウロ、フィルハーモニー管弦楽団との共演でロイヤル・フェスティバル・ホールに出演。またワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団とアメリカツアーを行い、ルクセンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ポーランド国立放送交響楽団、NHK交響楽団、ソウル・フィルハーモニー管弦楽団とも共演。これまでの特筆すべき出演にはクリーブランド管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、中国NCPA管弦楽団とのアメリカツアーが含まれる。今後はロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との初共演、モントリオール交響楽団とのヨーロッパツアー、ウィーン交響楽団との学友協会デビュー、さらにラ・ロック・ダンテロン、クラヴィア・フェスティバル・ルール、ラインガウ、エディンバラ、「ショパンと彼のヨーロッパ」、ドゥシニキ、グスタード・メニューインなどの音楽祭出演が予定されている。ドイツ・グラモフォン専属アーティスト。ショパン・コンクールのライブ録音を収録したファースト・アルバムはフレデリック賞を受賞、グラモフォン誌のクリティックス・チョイスとエディターズ・チョイスのほか、2021年のベスト・クラシックアルバムに選出されるなど国際的に高い評価を受けている。「私達が共通して持っているものは、私達がみな違っているということです」とこの若きピアニストは言う。中国人の両親のもとパリに生まれモントリオールで育ったブルース（シャオコ）・リウの人生は、常に文化的多様性の中にあつた。ヨーロッパの気品、中国の幾千年の伝統、北米のダイナミズムと開放性—それが彼の姿勢、人格、個性を形成してきた。楽観性と笑顔をもって芸術家の道程をたどりながら、リチャード・レイモンドに学び、現在はダン・タイ・ソンに師事している。

ロゼシアター on demand

ロゼシアターのさまざまな記録や作品を
色々な角度からご覧いただけるコンテンツ
またその最新情報をご紹介します！

ロゼシアターHP 「客席からの舞台の見える方」



中ホール1列目からの視点画像

ロゼシアター公式ホームページに、
ホール客席から舞台を見た際の視
点画像をご覧いただくページを作
成しました。
『施設のご案内』▶『大ホール』ま
たは『中ホール』▶『仕様：客席数』
内「客席からの舞台の見える方」か
らご覧いただけます。
ぜひ施設利用や公演チケット購入
の際にご活用ください。

YouTube Vol.7

2020年にスタートした
YouTube「ロゼシアターチャン
ネル」では、現在90本を超え
る動画を公開しています。ロゼ
シアターの自主事業を代表す
る市民ミュージカルのほか、市
民演奏家によるコンサートや
アウトリーチ事業の様子などを
お届けしています。

2023年5月投稿
3月9日開催「新人音楽家による演奏会」
の様子をお届けします。



ロゼシアター開館30周年記念ロゴマーク



平成5年11月にオープンしたロ
ゼシアターは、今年で30周年を
迎えます。

これを記念してロゴマークを作成しました。今年限りのオリジナルロゴマーク、
皆さまの目に触れる機会をたくさん作っていきたいと思います。



ロゼの外観を飾るタペストリー

日本人ダブル入賞により、例年以上に国内で大きく話題になった「第十八回シヨパン国際ピアノ・コンクール」。このコンクールにおいて完全優勝の栄冠に輝いたピアニスト ブルース・リウさんに十月の公演を前にお話を伺いました。

ピアノをはじめたきっかけを教えてください。

ピアノはたくさんあった趣味の一つとしてはじめました。子どもの頃はピアノを弾くことが楽しく、練習時間はとても短かったものの遊んでいる感覚でした。僕は落ち着きのない子どもでしたが、ピアノにだけは十五分や三十分と集中して取り組めました。

年齢を重ねて真剣に取り組むようになると、ピアノを通して様々な感情を発見、表現できるようになりました。不思議なことに、ピアノを弾いているときは周りのことを忘れ、自分だけの世界に入り込めます。

普段ピアノにはどのくらい触れているのですか。オフはどのように過ごされているのでしょうか。

ピアノは人生の一部であり、切り離すことのできない深くつながっ

たものです。もはやオフの時間もピアノから離れることはできません。というのも、僕の趣味すべてがなんらかの形でピアノに対する熱意を掻き立てるよう上手くバランスを取っているのです。

ランニングや水泳、バドミントン、テニス、卓球、ボウリング、ビリヤードと、小さいころから様々なスポーツをしています。また、チェスや麻雀、最近ではバックギャモンと、今も新しい趣味を増やし続けています。様々なものの好奇心があるため、ひとつのことに時間をかけて立ち止まることはなかなかできませんが、それが僕のやり方で、さらに多くのものを学べるのです。それでいいじゃないですか？（笑）

最も効率的な時間の使い方は、物事を並行して行うことと聞いたことがあります。まさに、他のことをすることが休憩になるので、アーティストには変化が必要だと僕は思います。だからこそ、あらゆる感情やものを表現する

ために幅広い視野を持つことがとても大事なのです。

第十八回シヨパンコンクール優勝以降、人生は大きく変わりましたか。

もちろん、信じられないほど変わりました。一番の変化は、プライベートの時間が無くなったことです。先ほど言ったように、音楽は人生と切り離すことができません。

音楽や芸術はAIやロボットで代行することはできないと思います。というのも、音楽や芸術に携わ

る表現者は唯一であるべきだからです。僕は作曲家ではないので何かを生み出すのではなく、作曲家が書いたものを演奏しています

が、それは唯一であることを忘れさせてしまうことがあります。だからこそ、人生のあらゆる面を通して、自分自身を知ることが大切と考えています。

僕はいつも「すべての道はローマへ通ず」という言葉を大切にしています。シヨパンの曲は十九世紀に書かれましたが、僕たちは二十一世紀の今を生きています。解釈者として作曲者のメッセージを伝えることはもちろん大切ですが、今を

生きる身として僕なりのメッセージを伝えることも重要と考えているのです。そこには、新しい人、感情、そしてクリエイティブな発想などから絶えず出てくるイメージネー

ションが必要です。その背景はひとりひとり異なりますし、聴衆の受け止め方も異なります。僕にとって、それを明確にするために自分の唯一さを知ることがとても大切なのです。時には弱さにも、気を払いながら向き合っています

芸術に完璧というものはありませんが、誰の心の中にも理想があり、それを追っていくからこそ、芸術が廃れることはないのです。

今後の目標を教えてください。

演奏活動に動しみ空港とコンサートホールとの移動の繰り返しの中であつても、常に感動と新しいものの見方を見出し続けることです。新しいものの見方は、ロジックと研究により説得力をもたらし、価値のあるものにすると思います。僕の最大の望みは、自分の中で発見したそういったものをピアノを通して皆さんに届けることなのです。芸術の目的は人々に善や慈しみの心、感動をもたらすことと考えています。

プログラムのみどころ・ききどころを教えてください。

シヨパンはピアノにとって最も詩的な作曲家です。彼のメロディーを嫌いだという人はいないのでは。一音一音が歌であり、曲の構成と即興性が完璧なバランスをとっており、ルバート（※）と思いつかぶのは彼のことだけです。この曲にはいつも身近なものを感じてきました。作曲したときの彼と、今の僕の年齢が近いせいかもしれないですね。樂觀的な面、輝き、活力、好奇心：そういったものが僕自身の個性に近いような気がするのです。

お客様にメッセージをお願いします。

コンクールで演奏したシヨパンの音楽を、富士市の皆さんと分かち合えるのが待ち遠しいです。実は、二月に山中湖に行きすばらしい富士山の写真を撮りました。今度は富士山のもっと近くに行けることを、そして美しい景色の中でシヨパンの美しい音楽を皆さんへお届けできることを楽しみにしています。

ありがとうございました。

（※）演奏記号テンポ・ルバートの略。



公演情報
パーヴォ・ヤルヴィ指揮
チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団
with ブルース・リウ

日 時: 2023年10月20日(金) 開場18:30 開演19:00
会 場: 富士市文化会館口ゼシアター 大ホール
入場料: (全席指定・税込) ※未就学児入場不可
S席14,000円 A席12,000円 学生5,000円(25歳以下)



静岡県立 吉原高等学校 美術部

会期:2023年7月～9月

部員/16名

主な活動/文化祭、東部展、新進アーティスト作品展 等
〈部長からひと言〉

作品のテーマ決めから制作・完成までの工程がとても大変ですが楽しく充実した部活動です!!



静岡県立 富士東高等学校 美術部

会期:2023年10月～12月

部員/15名

主な活動/文化祭、東部展 等
〈部長からひと言〉

2年生のいない私たちの美術部は、文化祭が終わると次は1年生の代です。沢山のことを伝えたいです。



PICK UP
ARTIST

AG Street 編 2023 高校生版

開館30周年記念事業として、富士市内高等学校の美術部の皆さんの作品を、ロゼシアター1階のアートウォールに展示します。この度参加していただくことになった3校をご紹介します。どちらの学校も文化祭の準備作業に忙しい時期に取材させていただきました。会期は各校約3か月間、ロゼシアター開館中はいつでもご覧になれますので、ご来館の際はぜひ足を止めてご鑑賞ください。



長田佳代作品展(1～3月)



※富士校写真部提供

静岡県立 富士高等学校 美術部

会期:2024年1月～3月

部員/16名

主な活動/文化祭、東部展 等
〈部長からひと言〉

個人制作や文化祭でのパフォーマンスなどに向けて楽しく活動をしています。



新進アーティスト作品展vol.21 Art Generation 2023 2023.3.4(土)～3.12(日)

※新進アーティスト作品展…静岡県内の18～35歳を対象とする美術の公募展

PICK UP
ARTIST

優秀賞受賞

平尾早希

ひ ら お さ き



@jarijarimanju



受賞作品について教えてください。

自分の記憶や記録を断片的につなぎ合わせて、コラージュのような作品をよく作ります。この作品も、コラージュのように見えますが奥行きや写真に撮った自然をモチーフとしてつなぎ合わせています。実際に模型のようなものを作って絵にしました。

色鮮やかで、勢いを感じますね。

私は色から絵をはじめることが多いですが、この作品は、紫の絵にしよう、紫を使い



受賞作品「張りぼて」

たいからこのモチーフにしよう、とはじめました。色の組み合わせは日々考えています。それが一番もとなっていてと思います。線にもこだわりがあるので、コラージュ的に組み合わせています。絵を見る時、人は線を追っていくので、後ろから前へ持ってくるような線をかいたり、面と組み合わせる奥行きを出したり、自分の課題にして描くようにしています。

大きなサイズの作品が好きなようです。

小さめのドローイングは日々作るようにしていますが、そこから大きい作品へサイズをあげると、どうしても緩やかさがなくなってしまうように感じます。作家特有の悩みだと思いますが、いざキャンバスとなるとたじろいでしまつて、うまくいかななくてボツになることがよくあります。でもなぜか大きいサイズが好きですね。運ぶのも保管するのも苦労しますが、サイズだけの魅力もあるかもしれません。小さい面を塗ることは上手にきれいにできますが、大きい面を大きい刷毛で塗るのは体力も必要ですし、その筆を洗う作業の工程の多さが圧倒的に違います。だからこそ大きい作品を作りたいと思います。

創作活動をしなからお仕事をなさっているようです。

大人を対象とした絵の教室で講師をしています。趣味ではじめたいと思っている方が気軽に入ることができるよう、ハードルを下げる方と思っています。初めてのの方は、熟練した方とは違う良さがあります。実は今日も教室があつて、生徒さんが対象物をセッティングして、それをスケッチする、ということをやりました。私なら奥行きが出やすい



ように前後に置くのですが、その生徒さんは真横に並べて置いたのです。これは描きにくいのではと思ったのですが、出来上がった絵を見ると、整然としていて格好良かったです。これはデッサンを学んできた人にはできない、いや

きつとやらないですけど、見ていて面白くて、こういう考え方が好きだな、と今日も感動してきました(笑)。

感動するものを作る人は、他の人に教えてもらうのではなく、自分の中にあるものでできてしまうと思うので、見ていて気持ちがいいです。そのような方々からたくさんの刺激を受けています。

これからどのような活動を予定していますか。

作品を作っていくみたいです。人生のどんなステージにいても絵に反映できると思っています。学生時代時間やスペースがあつて大きな作品が描けたとか、忙しくて小さい作品になつていったりとか、転機があつて絵の性質が変わつたとか、些細なことが何でも反映されていくと思いますし、それが面白いところだと思っています。あとは、多くの作品を見た作品について人と話したりして自分自身が楽しみたいという気持ちと、こんな気持ちをシェアできる環境があればいいなあと考えています。

絵に対する、静かで熱い思いを感じました。今後の活躍を期待しています。

次回開催時に、個展開催予定

8月

ロゼ・こどもサマーフェスティバル トレインフェスタ

日 時: 8月26日(土)
①13:00～15:00 ②15:30～17:30
8月27日(日)
③10:00～12:00 ④13:00～15:00

会 場: 展示室
入場料: 無料
※定員各回200名
(要事前予約)
※先着順

予約開始日
WEB・窓口同時
7月20日(木) 10:00～



9月

H ZETT M ピアノ独演会 2023 九月 - 富士の陣 2 -

日 時: 9月2日(土) 開場16:00 開演17:00

会 場: 中ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 5,500円
学生 1,000円
※3歳以下入場不可、
4歳以上要チケット

発売中



9月

ロゼ・クラシックカフェ・コンサート Vol.8 「ロマンティックな歌たち」

日 時: 9月22日(金) 開場18:30 開演19:00

会 場: 小ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 4,000円 学生 1,000円
※未就学児入場不可

発売日
WEB: 7月5日(水)
窓 口: 7月6日(木)



浦久俊彦
(ナビゲーター)



鷺尾麻衣
(ソプラノ)



工藤和真
(テノール)



河野紘子
(ピアノ)

9月

「おかあさんといっしょ」 ファンターネ!がやってきた

日 時: 9月23日(土・祝)
1回目/開場13:00 開演13:30
2回目/開場16:00 開演16:30

会 場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 3,000円
※1歳以上有料
(1歳未満のお子様は、保護者
1名につき1名以上鑑賞無料)

発売日 WEB: 7月6日(木) 窓口: 7月7日(金)



10月

中村勘九郎 中村七之助 錦秋特別公演 2023

日 時: 10月15日(日) 入場料: (全席指定・税込)
1回目/開場11:15 開演12:00 S席 8,800円
2回目/開場15:15 開演16:00 A席 6,800円
B席 4,800円
会 場: 大ホール ※未就学児入場不可

発売日
WEB: 6月22日(木)
窓 口: 6月23日(金)



中村七之助



中村勘九郎

10月

<開館30周年記念> チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

指揮: パーヴォ・ヤルヴィ
ピアノ: ブルース・リウ

日 時: 10月20日(金)
開場18:30 開演19:00
会 場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
S席 14,000円
A席 12,000円
学生 5,000円
※未就学児入場不可

発売日
WEB: 6月21日(水)
窓 口: 6月22日(木)



パーヴォ・ヤルヴィ



ブルース・リウ

10月

ロゼシアター 市民創作ミュージカル Dear... ～Memory 25/30～ [A Christmas Carol of ROSE THEATRE]

日 時: 10月28日(土) 時間未定
10月29日(日)

会 場: 中ホール
入場料: (全席自由・税込)
均一 1,500円
※4歳以下入場不可

発売日 WEB・窓口同時 8月18日(金)



EVENT SCHEDULE 2023 7～9

イベントスケジュール 2023年7月～9月

ロゼシアター主催事業のご案内

7月

葛西聖司の入門講座 能狂言の世界 第二夜

日 時: 7月11日(火)
開場18:00 開演18:30

会 場: 小ホール
入場料: (全席自由・税込)
一 般 1,000円
学 生 500円
※未就学児入場不可

発売中



7月

<開館30周年記念> 松平健コンサート 2023

日 時: 7月17日(月・祝)
開場15:30 開演16:00

会 場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
1階席 6,600円
2階席 5,500円
学 生 1,000円
※未就学児入場不可

発売中



7月

ロゼこどもコンサート

日 時: 7月29日(土)
1回目/開場10:00 開演10:30
2回目/開場12:30 開演13:00

会 場: 中ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 500円
※0歳から入場可
※3歳以上有料、2歳以下は
保護者1名につき1名まで
ひざ上鑑賞無料

発売日
WEB: 6月27日(火)
窓 口: 6月28日(水)



7月

野村萬斎 狂言のタベ

日 時: 7月31日(月)
開場18:30 開演19:00

会 場: 中ホール
入場料: (全席指定・税込)
1階席 7,700円
2階席 6,600円
学 生 1,000円
※未就学児入場不可

発売中



8月

ロゼ・こどもサマーフェスティバル ホール探検隊

日 時: ①8月2日(水) 14:00
②8月3日(木) 10:00
③8月3日(木) 14:00

会 場: 中ホール
参加費: 無料
※定員各回20名
(要電話予約)
※先着順
対象: 小学生とその保護者

電話予約
7月6日(木) 14:00～



8月

ロゼ・こどもサマーフェスティバル スタンプラリー

日 時: 8月9日(水)
10:00～14:00
※スタンプ台紙配布は13:00まで

会 場: 会議室 ほか
参加費: 無料
(予約不要)



WEB購入手順

- 1 ロゼシアターホームページ <https://rose-theatre.jp> (24時間対応)
- 2 「ロゼフレンドシップ」へログイン ※チケット購入には「ロゼフレンドシップ」の登録が必要です
- 3 公演・座席選択 「座席指定して予約」より座席を選択可能
- 4 支払方法・チケット引取方法 選択 クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取

※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください ※発売初日は10:00からの販売となります ※「学生券」は25歳以下の学生が対象です ※購入後の変更・キャンセルはできません

※最新情報は、ロゼシアターホームページをご覧ください、直接お電話にてお問い合わせください。

西洋音楽史の扉

第九話 バロック音楽と歪んだ真珠 教会と宮廷と職人と

「西洋音楽Ⅱクラシック音楽」。何となく、こんなふうに思っていないませんか？クラシック音楽は、膨大な西洋音楽史のほんの一部にすぎません。人類史をひもとくと、つねに音楽は人類とともにありました。西洋史のなかにも、さまざまな音楽物語があります。今回のテーマは、「バロックと音楽」です。

「バロック」という迷宮

「バロック音楽」といえば、多くのクラシック音楽ファンは、J. S. バッハや、ヘンデルなどドイツ・バロック音楽の巨匠たちを思い浮かべることでしょう。でも、バロック音楽とは何か？という問いに答えるのは簡単ではありません。「バロック」という言葉が示すさまざまな芸術様式や、それを生み出した時代背景をとらえるのは「一筋縄ではないから」です。「バロック」とは、ふつう十六世紀末から十八世紀に欧州で流行した芸術様式の呼称として用いられます。その語源は、ポルトガル語の

「BAROCO（ゆがんだ真珠）」にあるとされますが、「奇抜な」や「ばかげた」という意味もあります。なぜ「歪み」や「奇抜」が芸術のテーマとなるのか？不思議ですが、やがてこの言葉は、美術、建築、文学、音楽など、誇張や劇的な効果を追求した十七世紀という時代を象徴するキーワードとなっていくのです。

バロックは中心を失った世界の芸術
宗教闘争から近代への扉

バロック芸術は、中世以降の教会を中心とした社会秩序が大きく揺らいだ激動の時代を背景に生まれました。一五二七年、プロテスタントの祖ルターが九十五条の論議をカトリック教会に突きつけ、宗

者ギー・ドゥポールは「バロックとは中心を失った世界の芸術である」といいます。つまり、宗教闘争によって中世まで信じられていた「天上の宇宙」という神の創造物としての神話的秩序が完全に崩壊したということです。「バロックは、完璧さとか完成されたものの代わりに、動き、変化を求め、制限されたもの、把握できるものの代わりに、制限されていないもの、巨大なものを求める。均等の美の観念は消え失せ、関心はもはや現実存在するものではなく、変化するものにあるのだ」。これは、美術史家ヴェルフリンの言葉（『美術史の基本原理（九一五）』ですが、ここには、バロック芸術の躍動感がよく示されています。

教会から宮廷へ―芸術の舞台の変遷

ウェストファリア条約以降の西欧は、宗教よりも国家が国際政治の主体となっています。ルイ十四世のヴェルサイユ宮殿や、ハプスブルク帝国など、絶大な権力と富を誇る絶対君主たちの時代。その舞台で繰り広げられたのが宮廷音楽です。け



アンリ・ボナール：ルイ14世時代の宮廷音楽

れども、そこでの主役は音楽家たちではありません。当時の音楽は王侯貴族など権力者たちの所有物であり、それは権力そのものでした。宮廷晩餐会のBGMのためだけに数多くの楽士たちが雇われた時代。現代のように電子端末を持ち歩いてどこでも気軽に音楽を聴ける時代ではありません。音楽を聴くために途方もない財力が必要とした時代。たとえば、ルイ十五世時代のヴェルサイユ宮殿では、王と王妃のふたりの食事のために、王だけでも四三〇名、王妃関係で二〇名、計六四〇名（！）もの給仕関係者が携わっていたといわれますが、宮殿も儀式も食事も音楽も、すべてが国王の権威を誇示するための装飾品であり、そのために莫大な国費が浪費された時代であり、宮廷では国王やその家族をよろこばせるためだけに音楽が存在したともいえる時代だった



メンツェル：サンスーシ宮殿のフルートコンサート

たのです。

権力としての音楽と職人としての音楽家

それを象徴する一枚の絵画があります。（中央画参照）この絵の主役は、中央でフルートを演奏するプロイセンのフリードリヒ二世。左側には演奏を楽しむ貴族たち、右側には音楽家たちが描かれています。よくみると高貴な人々の頭上は明るくシャンデリアで照らされているのに、音楽家たちは貧相なロウソクの光です。ここには彼らの身分と立場の違いが明確に描かれています。ただ、音楽家たちが召し使い同然だったとはいえ、彼らが不幸だったとはいえません。粗野で野蛮で芸術的精神を理解しようとしないう大衆におもねる時代よりも、芸術的素養をもち、

徳を備えた君主に仕えることができた時代のほうが、音楽家が職人としての芸をきわめるには理想的な環境だったといえるからです。バロック音楽の豊潤な響きを聴くと、そこに職人芸としての音楽が輝いていた時代を感じ取ることもできます。

浦久俊彦

今回は、第十話「ドイツ古典派物語
クラシック音楽の誕生」です。
お楽しみに！

参考文献

- 『バロック・コレクション（全4冊）』荒俣宏、池内紀、種村季弘ほか 筑摩書房 1987-9
- 『フランス・バロック演劇研究』藤井康生著、平凡社 1995
- 『バロックの王国』R・J・W・エヴァンス著、新井皓士訳、慶應義塾大学出版会 2013
- Dictionnaire Encyclopédique de la Musique, Université d'Oxford/Robert Laffont

浦久俊彦（うらひさ としひこ）

文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランス・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『ベートーヴェンと日本人』（以上、新潮社）、『オーケストラに未来はあるか』（指揮者・山田和樹との共著アルテスパブリッシング）など。最新刊は『リベラルアーツ〜「遊び」を極めて賢者になる』（集英社インターナショナル）。



宗教戦争 この三十年戦争ではドイツの全人口のじつに半分以上が失われたという

テノール歌手

工藤和真

Kazuma Kudo

オペラ、クラシックの公演だけでなく、ミュージカルやテレビ出演、テレビアニメの劇中曲への参加など、幅広く活躍をしているテノール歌手の工藤和真さんに今回の公演を前にお話を伺いました。

音楽を始めたきっかけを教えてください

私が音楽を始めたのは、中学生の時に、音楽の先生から誘われて合唱部に入部したことからです。ただ、はじめから合唱部だったのではなく、最初はハンドボール部に入部していました。その後、二年生の時に合唱部が混声合唱になったこともあり、掛け持ちで合唱部に入部をしました。

中学三年生の時に、ハンドボール部では、県大会で優勝し東北大会の決勝まで進みました。全国大会の枠

が二校で、決勝の勝ち負けにより全国大会に進めるか決まるのですが、ちょうどその頃に進路について、高校でもハンドボールを続けようか、音楽の道に進もうか悩んでいました。ハンドボールの決勝大会で敗れたことから、本格的に音楽の道に進もうと決意し、県内の公立高校で唯一音楽コースがある学校に進みました。

今までの音楽との関わりで活かされているエピソードがありましたら教えてください

私が、中学の時にドイツのヘビメタ

の曲などを聴くようになりました。ドイツ語の響きがかっこよく思え、読み方を勉強したり、モノマネをしたりしました。そのせいか、ドイツ語を歌うことになった時に、違う言語にも抵抗なく、スツと入ることができました。

他には、高校の時にコンクールを目指して入った合唱部が、実は女声合唱の部活で（笑）、そこで裏声を使いアルトで歌った経験が今の発声に活かされています。

これまで多くのめぐり合わせで得てきた音楽人生だと思います。

現在の活動について教えてください

今はフリーで活動をしています。オペラに出演したり、ミュージカルやコンサートに出演したり、音大志望の受験生にレッスンをしたりしています。

プライベートではどのように過ごしていますか

休日は、家のことをやることが多いです。散歩したり、買い物したり、家電量販店で最新の家電を見るのが好きですね。

趣味の釣りは、友達と横浜にある釣り場に行っています。この前、実家に帰った時には、父と溪流釣りに行きました。

工藤和真

〈プロフィール〉

工藤和真(テノール)

岩手県出身。15歳の時にクラシック音楽と出会う。東京藝術大学卒業。同大学院修了。声楽を小原一穂、佐々木朋也、市原多朗、エリザベス・ノルバルグ・シュルツの各氏に師事。市川市文化振興財団主催第28回新人演奏家コンクール優秀賞。第33回練馬区新人演奏会オーディションにて最優秀賞を獲得。第1回かわさき新人声楽コンクール第1位。第84回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第53回日伊声楽コンクール第1位、及び歌曲賞(岡部多喜子・嶺貞子賞)を受賞。第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位(最高位)、及び聴衆賞を受賞。オペラではマスカーニ作曲《カヴァレリア・ルスティカーナ》トゥリッドゥでデビューを果たした。これまでに《椿姫》アルフレード、《トスカ》カヴァラドッシ、《魔笛》タミーノ、《トゥーランドット》パン、《フィガロの結婚》ドン・パジリオなどで出演。東急ジルバスターコンサート2019-2020ではベートーヴェン《交響曲第九番》テノールソリストとして出演。テレビ番組への出演やポピュラー曲のカヴァーライブを行うなどクラシック以外にも幅広いジャンルで活動する。

コンサートで大事にしていることを教えてください

お客様の心に残るように歌いたいと考えています。常日頃から自分に言い聞かせているのは、うまい歌ではなく、いい歌を歌うようにすることです。歌のテクニクを披露するのではなく、その曲の持つ音楽の本質、感情を届けたいです。

思い出に残っているコンサートを教えてください

歌を始めた時、大きなホールで満員のお客様の前で歌うのが、大きな目標でした。自分の中で夢が叶ったと感じたのは、昨年の新国立劇場で、オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」のステージに立った時です。会場も大きいので、多くのお客様から拍手をいただいて、最初は、何が起きているかわからないほどの衝撃を受けました。

コンサートは、五回公演で行われ、最後の方になると、その大きな拍手をしっかりと受け止めることができました。

その他では、「ユリ!!! on ICE」というフィギュアスケートが題材のアニメの挿入歌を歌っていました。そして、アニメイベントが幕張メッセで催され、六千人の観客の前で歌う機会がありました。六千人の拍手、歓声は、自分がイメージしていたものより大きく、すごいエネルギーをもらいました。

クラシックの公演にはない、お客様からの「ウェーイ」などの声もあり、気持ち良かったです。

今回のコンサートの聴きどころを教えてください

日本の歌では、大正時代の曲を予定しています。大正時代は、日本のメロディーと、日本にはない新しさのあるヨーロッパの文化が混ざり、取り入れられた時代だと思います。歌の中に、祖父母や親の世代から歌い継がれた曲から、日本を感じることの出来る懐かしいメロディーや、現代曲との共通点も感じていただければと思います。また、その同じ時代に海外ではどんな曲であったのかを聴いていただきたいです。

静岡県に来たことはありませんか

静岡県内だと、三島市で公演を行ったことがあります。

岩手県に岩手山という山があり、岩手富士と呼ばれています。岩手山より、さらに大きい富士山を間近で見られるのを楽しみにしています。

コンサートにご来場されるお客様にメッセージをお願いします

オペラは、マイクを使わずに、自分の体を楽器に行っています。会場でしか伝わらない生の音楽を聴いていただきたいです。

公演情報

ロゼ・クラシックカフェ・コンサート Vol.8

「ロマンティックな歌たち」

ソプラノ／鷺尾麻衣 テノール／工藤和真 ピアノ／河野紘子
ナビゲーター／浦久俊彦

日 時：令和5年9月22日(金) 開場18:30 開演19:00

会 場：富士市文化会館ロゼシアター 小ホール

入場料：(全席指定・税込) ※未就学児入場不可

一般 4,000円 学生 1,000円

発売日：WEB 7月5日(水)10:00～ 窓口 7月6日(木)10:00～

取材・文／渡邊 聡仁
撮影／長橋 睦

休館日のお知らせ

7月3日(月)、4日(火)
8月21日(月)～24日(木)
9月4日(月)

本誌は5月20日現在の情報です。
最新情報はロゼシアターホームページ等
ご確認ください。

- ホームページ <https://rose-theatre.jp>
- Twitter「ロゼシアター公式アカウント」
@rose_staff_fuji
- YouTube「ロゼシアターチャンネル」
- LINE ロゼシアター【イベント】

INFORMATION from ROSÉ THEATRE ロゼシアターからのお知らせ

編集後記

コロナウィルス蔓延から3年が経過しました。日々の生活としては、行動制限がなくなり、マスク着用が自由化され、ルール上ではコロナ禍以前に戻ったものも多いです。
今年、開館30周年を記念して、スイスからチューリッヒ・トーンハレ管弦楽団をお呼びすることができました。指揮・ピアニストも海外で活躍されている有名な方々です。コロナウィルス蔓延の最中は、海外に行くことも海外の方を呼ぶこともできない期間があったことを考えると、ようやくコロナ禍以前のように戻りつつあると実感が湧いています。
富士で海外オーケストラを鑑賞できるのはなかなかない機会ですので、ぜひお楽しみいただければと思います。(植松)

ふじ・紙のアートミュージアム 安部典子展



観覧無料
開催期間
2023.7/5(水)～9/18(月祝)
10:00～18:00
休館日 8/21(月)～24(木)、9/4(月)
※ロゼシアター休館日に休館

●最新情報は、ウェブサイト・facebookをご参照ください。

ふじ・紙のアートミュージアム

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター内(1階東側奥)
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>

プレゼントのご案内

Aコース 公演チケット2組4名様

対象公演:
『バーヴォ・ヤルヴィ指揮
チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団withブルース・リウ』
10月20日(金) 19:00開演 大ホール

Bコース レストラン「ロゼテラス」お食事券 (1,000円分)

今回は、営業再開を記念して特別に5名様!

■応募方法:はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記し、
下記アンケートにご回答のうえ応募ください。

- ① 情報誌を入手した方法または場所
- ② 情報誌で面白かった内容、ページ
- ③ 情報誌またはロゼシアターへのご意見・ご感想
- ④ プレゼント希望コース

■宛先:〒416-0953 富士市蓼原町1750番地
ロゼシアター「情報誌ロゼ124号」プレゼント係

■締切:7月14日(金)必着
※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
※ご応募はおひとり様1件まで(重複がある場合はすべて無効)

レストラン「ロゼテラス」 営業再開のお知らせ

長期休業しておりました館内レストラン「ロゼテラス」が、令和5年4月よりメニューを一新し、営業を再開いたしました。ご来館の際はぜひご利用ください。



〈鉄鍋オムパスタシリーズ〉	
キーマカレーチーズ	¥1,480
まぜカルボナーラ	¥1,430
茄子ミート	¥1,430
たらこクリーム	¥1,480

◆営業時間 11:00～15:00(ラストオーダー14:30)

◆場 所 2階レストラン(ロゼテラス)

◆お問合せ ロゼテラス TEL 0545-60-2727

※当面の間はランチ営業のみ行います。

詳細につきましては、ロゼテラスホームページをご覧ください。
<https://www.nasubi-ltd.co.jp/rose/>

FLASH BACK 2023.2～4

終了したロゼシアター主催事業の様子をお届けします!2023年2月～4月をフラッシュバック!!

旬の音楽 seasonal music collection ～その時季に聴きたい音楽、音色を～ Vol.2 高野百合絵(ソプラノ)

2月3日(金) 19:00開演

- お歌になる時の表情が素晴らしく心に響いてきました。(40代女性)
- 素晴らしいソプラノの響き、心が揺さぶられる思いで聞いていました。(60代女性)
- 声の迫力に圧倒されました。(50代男性)



三枝成彰のレクチャーコンサート クラシックは凄い!

2月18日(土) 19:00開演

- 深い洞察に富んだお話は、大変興味深かったです。その歴史背景を知っていればより楽しいものと感じました。(50代女性)
- クラシックと社会、階層についてのお話し、面白かったです。(70代男性)
- 一晩でいくつもの楽器と音色を聞いて良かったです。(50代女性)



新進アーティスト作品展 vol.21 Art Generation 2023

3月4日(土)～12日(日)

- 作品の解説と講評があることで理解しやすく、素人でもアートを理解できたことが嬉しかった。(40代女性)
- 高校生がこの世の中の情勢をしっかりと感じ取っていると思え、非常に満喫できた。(20代男性)
- 高校生、若者のみずみずしい感性を受け取れました。(60代女性)



ふじ寄席 方正・三度 二人会

3月11日(土) 18:30開演

- 二人とも話が上手で楽しかったです。(30代男性)
- 落語は初めてでしたが、面白く引き込まれました。(20代女性)
- お二人ともタレントさんの印象が強かったですが、立派な噺家さんでびっくりしました。(60代女性)



旬の音楽 seasonal music collection ～その時季に聴きたい音楽、音色を～ Vol.3 LEO(箏)

3月23日(木) 19:00開演

- とてもすてきな演奏であつという間に時間が過ぎてしまいました。(30代女性)
- 事の繊細な生音、派手な音並びでも決してうるさくない自然感に満ちた音空間がたまらなかったです。(40代女性)
- お琴とピアノという組合せの音が、モダンな音のような、古典のような不思議さですばらしかったです。(60代女性)



ロゼフォークプラザ vol.19 懐かしのフォークソング名曲特集

2月11日(土・祝) 17:30開演

- とても懐かしい歌ばかりで青春時代を思い出し、楽しく幸せなひとときを過ごせました。(60代女性)
- 歳を重ねた方々の青春を感じられました。楽しかったです!(20代女性)
- 同年代の方々が元気に活躍している姿を見ると元気が出ます。(70代男性)



第10回 ロゼ富士山こども将棋大会

2月23日(木・祝)

- みんなとたくさん指せて楽しかった。
- とても良い経験になった。
- もっと勝てるように、がんばりたいです。



新人音楽家による演奏会

3月9日(木) 19:00開演

- バラエティに富んでいてとても楽しく聴かせていただきました。(70代女性)
- 新人の方が日頃がんばって練習した成果が出ており、感動しました。(40代女性)
- 素晴らしい演奏会でした。近いとこんなにも息づかいが聞こえるとは思いませんでした。(30代男性)



ミュージカル体験ワークショップ

3月11日(土)、18日(土)、21日(火・祝)

- 楽しく踊れてうれしかった。
- とても楽しかったです。



ロゼこどもスプリングコンサート

4月8日(土) 1回目 10:30開演 2回目 13:00開演

- 親子で楽しい時間を過ごすことができました。(30代女性・3歳・3歳)
- 子供の初めてのコンサート、とても喜んでいました。生の演奏、歌を聴いてもらえて嬉しかったです。(30代女性・2歳)
- 色々な曲を生で聞くことができ良いと思います。子供たちも喜んでいました。(40代女性・3歳・7歳)

